

分 類：臨床医学Ⅲ

授 業 科 目 名：救急疾患，物理・化学的因子による疾患（Emergency Medicine）

対 象 学 年：4年次必修

時間割コード：71633028

開 設 学 期 等：第1週～第6週（毎週火曜日 5-10 時限）

単 位 数：0.5+0.5

1. 主任教員

中 永 士 師 明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

2. 担当教員

中 永 士 師 明（教授、救急・集中治療医学講座、6183、オフィスアワー：8：30-17：00）

奥 山 学（准教授、救急・集中治療医学講座、6184、オフィスアワー：8：30-17：00）

佐 藤 佳 澄（助教、救急・集中治療医学講座）

白 幡 毅 士（助教、高度救命救急センター）

北 村 俊 晴（特任助教、総合診療医センター）

平 澤 暢 史（特任助教、総合診療医センター）

亀 山 孔 明（特任教授、総合診療医センター）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1) 救急・災害医療の病態を理解し、その診断・治療を学ぶ。

2) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。

(1-1,2, 2-1,)

3) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。(2-4, 4-5,7)

4) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(1-1, 2-1,5, 4-5,7)

5) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。(2-7)

6) 重症救急疾患の病態生理を説明できる。(3-2)

7) 救急現場における医療安全・医療倫理を説明できる。(3-5)

8) 病院前救急診療医学を説明できる。(3-5,6,7, 4-7,8)

9) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4)

10) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切にEBMを実践できる。(3-3, 4-4, 5-1,2,3,4,)

11) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(4-5)

12) 医療安全に配慮した基本的な手技が実践できる。(3-5,6, 4-2,6)

13) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を実践できる。(3-7, 4-8)

14) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解し、実践することができる。(5-1,2,3,4,)

15) 絶えず進歩する医学・医療について適切な情報収集能力と解析力を持ち、生涯にわたり自ら学び、自己研鑽を続けることができる。(5-1,2,3,4,5, 6-1,2)

4. 教科書・参考書

1.Up to Date

2. 救急診療指針

3.BLS ヘルスケアプロバイダーマニュアル

4.ACLS プロバイダーマニュアル

5. 外傷初期診療ガイドライン

5. 成績評価の方法

出席状況、受講態度、統一試験などに基づいて総合的に評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. 講義日程は変更になる場合があります。
2. 教科書・参考書をもとに予習しておくこと。また、配布資料をもとに繰り返し復習しておくこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月8日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：熱傷</p> <p>1) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(1-1, 2-1,5, 4-5,7)</p> <p>2) 熱傷の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>3) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列举できる。(3-1,2,3,4, 4-1,2)</p> <p>4) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4)</p> <p>5) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切に EBM を実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。(3-5, 4-6)</p> <p>7) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。(2-5,6,7, 3-7, 4-8)</p>	中永 士師 明	第二病棟 2 階多目的室
2	4月8日 (火)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：病院前救護と救急医療体制</p> <p>1) 病院前救急診療医学を概説できる。(3-5,6,7, 4-7,8)</p> <p>2) ドクターヘリについて理解できる。(3-5,6,7, 4-7,8)</p> <p>3) ドクターカーについて理解できる。(3-5,6,7, 4-7,8)</p> <p>4) クラッシュ症候群の診断と治療を理解する(3-2,3,4, 4-7,8)</p> <p>課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4)</p>	平澤 暢史	第二病棟 2 階多目的室
3	4月8日 (火)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：ショック</p> <p>1) ショックの定義と診断について理解できる。(3-2,3)</p> <p>2) ショックの原因分類を理解できる。(3-2,3)</p> <p>3) ショックの初期対応と原因に応じた治療について理解できる。(3-3,4,5,6,7, 4-2,3,4,5,6,7,8)</p> <p>4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4)</p>	平澤 暢史	第二病棟 2 階多目的室
4	4月15日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：薬物中毒、熱中症と低体温症</p> <p>1) 薬物中毒の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>2) 熱中症の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>3) 低体温症の病態生理を概説できる。(3-1,2)</p> <p>4) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列举できる。(3-1,2,3,4, 4-1)</p> <p>5) 検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4)</p>	中永 士師 明	第二病棟 2 階多目的室
5	4月15日 (火)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：外傷 1</p> <p>1) 外傷の病態と診断の要点について理解できる。(3-1,2,3,4,)</p> <p>2) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列举できる。(3-1,2,)</p> <p>3) 外傷による原因分類を理解できる(3-1,2,3)</p> <p>検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4)</p>	奥山 学	第二病棟 2 階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
6	4月15日 (火)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：外傷 2</p> <p>1) 外傷の病態と診断の要点について理解できる。(3-1,2,3,4,)</p> <p>2) 緊急性や重篤性を考慮して鑑別すべき疾患を列挙できる。(3-1,2,)</p> <p>3) 外傷による原因分類を理解できる (3-1,2,3)</p> <p>検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3,4,5, 4-1,2,3,4)</p>	奥山 学	第二病棟 2 階多目的室
7	4月22日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：再接着</p> <p>1) 重度四肢外傷の初期治療について説明できる。(3-1,2,3,4)</p> <p>2) 切断肢・指の治療について説明できる (3-1,2,3,4)</p> <p>3) 切断肢・指の再接着後の機能回復を目指して総合的な治療を計画できる。(3-1,2,3,4, 4-2,3,)</p>	白幡 毅士	第二病棟 2 階多目的室
8	4月22日 (火)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：集中治療総論</p> <p>1) 集中治療及び集中治療室の概要を理解できる。(3-1,2,)</p> <p>2) 臓器不全 (多臓器不全、サイトカインストーム、播種性血管内凝固症候群) について理解している。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>3) 侵襲 (手術, 外傷, 熱傷) で生じる生体侵襲と生体反応を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>4) 重症患者に対する体温管理 (体温維持療法を含む) 及び栄養管理を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>5) 集中治療後症候群について概念を理解できる。(5-1,2,3,4,5)</p>	奥山 学	第二病棟 2 階多目的室
9	4月22日 (火)	9-10 時限	自主学习	テーマ：		
10	5月2日 (金)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：集中治療各論 1</p> <p>1) 各種臓器障害患者の病態生理を概説できる。(3-1,2,)</p> <p>2) 人工呼吸管理が必要な病態とその意義を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>3) ECMO が必要な病態とその意義を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4,5)</p>	亀山 孔明	第二病棟 2 階多目的室
11	5月2日 (金)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：集中治療各論 2</p> <p>1) 各種臓器障害患者の病態生理を概説できる。(3-1,2,)</p> <p>2) 急性血液浄化療法が必要な病態とその意義を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>3) 重症患者に対する体温管理 (体温維持療法を含む) 及び栄養管理を理解できる。(3-1,2,3,4,5)</p> <p>4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4,5)</p>	亀山 孔明	第二病棟 2 階多目的室
12	5月2日 (金)	9-10 時限	自主学习	テーマ：		

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
13	5月13日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：災害医療</p> <p>1) 災害医療供給体制を概説できる。(3-6,7)</p> <p>2) 災害医療におけるトリアージを理解できる。(4-1,2,3,4,5,6)</p> <p>3) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。(2-5,6,7, 3-7, 4-8)</p> <p>4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3,4,5)</p>	奥山 学	第二病棟 2階多目的室
14	5月13日 (火)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：臨床に即した救急 1</p> <p>1) 救急初期対応について説明できる。(1-1,2, 3-1,2,3, 4-1,2,3,4,)</p> <p>2) 救急初期対応時に付随する家族対応の注意点をあげることができる。 (2-1,2,3,)</p> <p>3) 適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3, 4-2,3,4,5)</p> <p>4) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切に EBM を実践できる。 (4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>5) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーション ができる。(2-4,3,6, 4-5,7)</p> <p>6) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。 (3-5,6, 4-2,6)</p>	佐藤 佳澄	第二病棟 2階多目的室
15	5月13日 (火)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：臨床に即した救急 2</p> <p>1) 救急初期対応について説明できる。(1-1,2, 3-1,2,3, 4-1,2,3,4,)</p> <p>2) 適切な治療方針を計画できる。(3-1,2,3, 4-2,3,4,5)</p> <p>3) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切に EBM を実践できる。 (4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>4) ベイズの定理が理解できる (3-3,4, 5-1,2,3,)</p> <p>5) 医療安全に配慮した基本的な手技を理解できる。 (3-5,6, 4-2,6)</p>	佐藤 佳澄	第二病棟 2階多目的室
16	5月20日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：多職種連携</p> <p>1) 効果的に文献検索ができ、批判的に吟味して適切に EBM を実践できる。(4-4, 5-1,2,3,4)</p> <p>2) 適切に診療記録を記載し、プレゼンテーションやコンサルテーションができる。(2-4,3,6, 4-5,7)</p> <p>3) 地域医療・地域包括ケアを理解して、適切な医療連携と初期対応を理解できる。(2-5,6,7, 3-7, 4-8)</p> <p>4) 課題解決のための基礎となる科学的理論と方法論、研究倫理を理解できる。(5-1,2,3)</p>	北村 俊晴	第二病棟 2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
17	5月20日 (火)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：BPS モデル</p> <p>1) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動することを理解する。(1-1,2, 2-1,2,3,4,5,)</p> <p>2) 総合診療における医療安全・医療倫理を説明できる。(3-5)</p> <p>検査結果を含めて総合的に診断し、適切な治療方針を計画できる。(3-3, 4-1,2,3,4)</p> <p>3) 医師の義務や医療倫理を遵守するとともに患者の安全と心身の健康を最優先し、常に患者中心の立場で行動できる。(1-1,2)</p> <p>4) わかりやすく正確な説明、プレゼンテーションができ、カンファレンスを充実することができる。(2-5,6)</p> <p>5) チームの一員として患者・家族・医療者に敬意を持ち、信頼・協調して診療に従事することができる。(2-5)</p> <p>6) 困難な状況下における患者・家族・医療者とのコミュニケーションができる。(2-8)</p>	北村 俊晴	第二病棟 2 階多目的室
18	5月20日 (火)	9-10 時限	自主学習	テーマ：		